

ルール改正のお知らせ

一般財団法人岡山陸上競技協会学童部では、2013年度から学童部の行う大会において次の様に一部ルールを改正させていただきます。このルール改正は岡山県の学童の陸上競技の競技力向上に資するためのものでありますので、ご理解とご協力をお願いします。なお、県下クラブや小学校の指導者のみなさんや大会を運営される方は必ずご確認くださいように重ねてお願いします。

☆スタートについての改正

【現 行】

スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
スタートは同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。

【改正後】

スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。

不正スタートとは

6 競技者は、最終の用意の姿勢をとった後、信号器の発射音を聞くまでスタート動作を開始してはならない。もし、競技者が少しでも早く動作を開始したとスターターあるいはリコーラーが判断したときは不正スタートとなる。

7 不正スタートをした競技者には、警告をしなければならない。各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。1回目の不正スタートのとき、不正スタートをした競技者に対しては、そのレーンナンバー標識上に黄カードを立てて警告する。これと同時に、そのレースに出場している他のすべての競技者に対して、これ以降の不正スタートをした場合は誰でも失格となることを知らせるために、1人あるいは複数の出発係が競技者の前方で黄黒（斜め半分形）旗・カードを挙げて警告する。この黄黒（斜め半分形）旗・カードによる警告は、レーンナンバー標識を使用しない場合にも行う。

2回目以降の不正スタートのとき、不正スタートをした競技者は失格とし、そのレーンナンバー標識上に赤カードを立てるか、対象競技者の前で赤黒（斜め半分形）旗・カードを差し出す。（ルールブックより抜粋）